

【県立病院】ハラスメントに関する調査について（概要）

（1）県立病院におけるハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.3.6～3.19、対象者数：約1,500名）

○回答者数 1,137名（回答率75%）

【回答者の職種】看護師 656名、コメディカル 191名、医師 94名、委託派遣職員 100名、事務職 60名、回答したくない 32名、その他 4名

①県立病院におけるハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・現在ハラスメントに悩んでいる方は150名（調査対象者全体の9.8%、回答者数の13.2%）で、主にパワーハラスメントが多い。

・行為者の職種は、看護師、医師の順で多い。被害者を受けた方との関係性は上司が多い。

【被害の対応】・ハラスメントを受けた方のうち、59名（39%）が何らかの行動を取ったが、91名（61%）は何も行動を起こしていなかった。

・上司や同僚やへの相談が多く、それらの行動により14%が改善

【病院の調査】・病院事務局の調査を希望したのは24名。調査を希望しない方の理由は「調査しても改善しない」が最多

②これまでの県立病院の組織文化における課題の把握

【過去の対応】・過去「被害を受けたもしくは相談を受けた」ことに対し行動を起こした方は全体の17%

・上司や同僚への相談が多く、それらの行動により32%が改善

【職場の状況】・ハラスメントのあった職場は、コミュニケーション不足、人手不足、休暇を取得しづらい傾向

・現在の職場との比較は、「変わらない」が44%、「改善・やや改善」が32%

・病院事務局や人事課を経由しない外部相談窓口を希望する声が多い（325名が希望）

（2）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間は（1）と同様、対象者数は1,350人 ※委託派遣職員を除く）

○回答者数 881名（回答率65%） ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・前知事からセクシュアルハラスメントを受けていたと回答した方は2名（2名とも内容の記載はなし）

・「見た・聞いた」と回答した方は1名（飲酒時の行動）

・上記3名とも、行動は「何もしなかった」、理由は「何をしても解決にならないと思った」

○今後の方針・調査を希望した事案について、外部調査機関により被害者・加害者双方から聴き取りを実施

・今回県が新たに設置した「第三者相談窓口」を病院職員も利用できることの周知徹底

・新たに院内に医師・看護師等からなる身近な相談窓口を設置し、相談の初期対応を実施

・新たにハラスメント対策の企画・実施を行う院内チームを設置、対策の助言・評価を行う外部有識者を配置

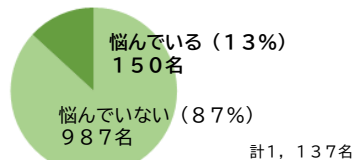
【県立病院】ハラスメントに関する実態調査について（詳細）

（１）県立病院におけるハラスメント被害の実態把握

被害の状況

- ・現在悩んでいる方は150名で、主にパワハラが多い
- ・行為者としては看護師、医師の順で多く、関係性としては上司が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか



問2 ハラスメントの種類 (複数回答可)

パワハラ	142名
セクハラ	9名
マタハラ	5名
その他	10名 (モラハラ等)

問3 ハラスメント行為者の職種 (複数回答可)

看護師	103名
医師	45名
コメディカル	20名
事務職	17名
委託派遣職員	16名
回答したくない	6名

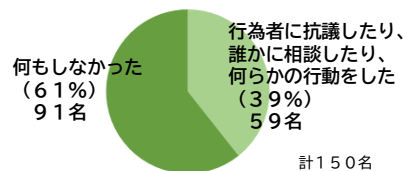
問4 行為者との関係 (複数回答可)

職場の上司	99名
職場の同僚	26名
他職種から受けた	23名
職場の部下	15名
回答したくない	8名
その他	4名

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた際、何もなかった職員の方が61%と多い
- ・上司への報告・相談が多く、行動しても「変わらなかった」が最多

問5 ハラスメントを受けた時の対応



問6 どのような行動か (複数回答可)

上司への報告・相談	32名
同僚への相談	30名
家族への相談	17名
行為者に直接抗議した	11名
病院事務局に相談した	5名
職員組合に相談した	2名
相談窓口などに相談した	2名

問7 行動で何か変化は (複数回答可) 計59名

何も変わらなかった	42名
問題は一時的に改善された	7名
問題はむしろ悪化した	2名
問題は完全に解決した	1名
回答したくない	3名
その他	4名

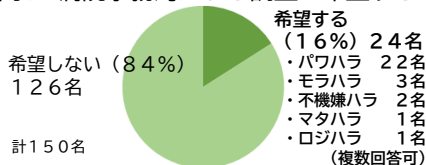
問8 何もなかった理由 (複数回答可)

何をしても解決しないと思った	66名
職務上不利益が生じると思った	45名
職場の人間関係が悪くなると思った	35名
行為がエスカレートすると思った	34名
上位職の者が行為者だったから	32名
相談しにくい雰囲気があった	25名

病院の調査

- ・調査希望24名。希望しない理由は「調査しても改善しない」が最多

問9 病院事務局による調査を希望するか



問10 希望しない理由 (複数回答可)

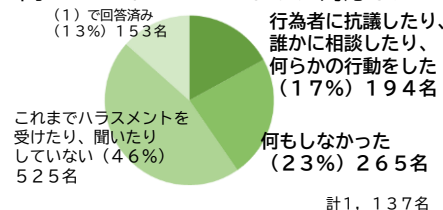
調査しても改善しないと感じる	86名
自身に不利益が生じないか心配	55名
行為者を刺激し報復されないか心配	52名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	40名
調査への協力が煩わしいため	19名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	13名

（２）これまでの県立病院の組織文化における課題の把握

これまでの対応

- ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は全体の17%
- ・上司への報告・相談が多く、行動しても「変わらなかった」が最多

問11 これまでどのように対応したか



問12 どのような行動か (複数回答可)

上司への報告・相談	112名
同僚への相談	96名
家族への相談	34名
行為者に直接抗議した	33名
病院事務局・人事課に相談した	17名
職員組合に相談した	12名
相談窓口などに相談した	10名
回答したくない・その他	13名

問13 行動で何か変化は (複数回答可)

何も変わらなかった	105名
問題は一時的に改善された	48名
問題は完全に解決した	14名
問題はむしろ悪化した	8名
回答したくない	10名
その他	9名
計	194名

問14 何もなかった理由 (複数回答可)

何をしても解決しないと思った	157名
上位職の者が行為者だったから	128名
職務上不利益が生じると思った	94名
職場の人間関係が悪くなると思った	76名
行為がエスカレートすると思った	58名
相談窓口がどこか分からなかった	49名
担当部署が公正に扱うか疑問	47名
相談しにくい雰囲気があった	46名

職場の雰囲気

- ・ハラスメントのあった職場は、コミュニケーション不足、人手不足
- ・現在も「変わらない」が全体の44%、「改善・やや改善」が32%

問15 当時の職場の雰囲気 (複数回答可)

悩み、意見を上司に伝えにくい	204名
人手が不足している	170名
休暇を取得しづらい	134名
上司・部下の会話が少ない	115名
時間外勤務が長い	76名
休憩時間を取得しづらい	74名
回答したくない	62名
職員間でのからかいが日常的	53名
他部署や外部との交流が少ない	50名

問16 現在の職場との比較 (複数回答可)

変わらない	203名
やや改善されている	81名
改善されている	66名
悪化している	27名
やや悪化している	17名
現在の職場で被害がある	14名
回答したくない	30名
その他	21名
計	459名

問17 どのようなサポートがあると良かったか (複数回答可)

病院事務局を経由しない外部相談窓口	202名
相談を受けた後の報告義務化	152名
行為者と被害者の引き離し	133名
人事課を経由しない外部相談窓口	123名
行為者の懲戒処分	116名
行為者の更生プログラム実施	67名
全職員向けのハラスメント研修	59名

問18 相談窓口を知っていたか

